

平成24年度

公益財団法人宮崎文化振興協会

事業報告書

公益財団法人宮崎文化振興協会

目 次

平成24年度事業報告書	1
事務局経営戦略課	1
宮崎科学技術館	3
宮崎市歴史資料館	1 2
・みやざき歴史文化館	1 2
・宮崎市佐土原歴史資料館	1 7
・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館	2 2
大淀川学習館	2 6
宮崎市民プラザ	3 3

平成24年度事業報告書

事務局経営戦略課

1 指定管理者公募への取り組み

(1) 指定管理者公募対策プロジェクトチームの設置

平成25年度が指定管理の最終年度となることから、指定管理者公募対策として、事務局経営戦略課と各館の副館長で組織するプロジェクトチームを組織し、各館の事業や施設運営の見直し及び点検評価を行った。

実施回数 5回

(2) 公益財団法人宮崎文化振興協会モニターの設置

利用者の意見を協会の事業に反映させるため、1市2町の住民を対象に公募でモニターを募集し、アンケートや協会への提言等、協会運営への意見をいただいた。11月と2月に意見交換会を実施し、各施設の改善に生かした点等を報告した。

モニター人数 10人 意見交換会 2回

(3) 企画評価委員会の設置

外部の専門家等からの意見を事業に反映させるため、各館に企画評価委員会を設置し、各館の事業について審議を行った。

各館実施回数 2回

2 更なる公益目的事業の推進

(1) 学習指導要領に基づく対応検討会の設置

各館の指導主事や学芸員、学習指導員を中心に、小中学校が各館を学習でより一層活用できるよう学習指導要領と各館の展示物及び体験学習等との関連性を検証し、その成果を利用ガイドブックとしてまとめ、平成25年3月に県内の小中学校や博物館等の関係機関に配付した。

実施回数 4回 配布先 546箇所

(2) 研究事業の実施

協会職員が、指定管理者の業務達成に貢献できると認められる研究について、職員にその費用の一部又は全部を補助し実施した。

また、平成25年3月14日(木)に研究事業成果発表会を開催した。

研究数 18本 研究した職員数 20人

(3) どっぷり体験合宿の実施

当協会が管理運営する施設及び生目の杜遊古館における宿泊体験活動を通じて、児童の科学的な理解や創造性を深め、郷土を愛する心を育むことを目的として、様々な科学、歴史、芸術文化分野の体験活動を実施した。

実施回数 2回 参加者数 75人

3 協会経営の自主性、自立性の確保

(1) 人事考課制度の導入

職員の資質向上及び人事管理のため、人事考課制度を導入した。

(2) 各種研修制度の実施

職員の資質向上のため、協会全体の年間研修計画を作成し研修を実施した。協会全体研修、人権研修、接遇研修、法務研修、財務研修、幼稚園児の参加協力のもとに行った避難訓練、専門性を高める学芸員研修等を実施した。

研修数 20回 延べ参加職員数 453人

(3) 学芸員連絡会の設置

学芸員連絡会を設置し、当協会の学芸員9名がお互いの業務や研究に関する情報や各施設の課題について共通理解を図るとともに、次年度へ向けた各館合同展示のあり方等について検討した。

実施回数 6回

4 広報活動について

(1) 宮崎文化振興協会レターの発行

当協会の日頃の事業成果について、役員等の協会関係者にタイムラグなくお伝えするために、7月号から月ごとに協会レターを発行した。

発行回数 9回（7月～3月号）

(2) 広報連絡会の設置

協会の広報内容の充実を図るため、広報連絡会を設置し、協会全体の広報について、様々な情報の集約、共有化を図り、既存の広報形式にとらわれない新たな広報について検討を行った。

実施回数 7回

(3) 3KANニュースの発行

宮崎科学技術館、宮崎市歴史資料館、大淀川学習館の各種事業等の案内など、楽しい話題を満載した季報として「3KANニュース」を年4回発刊し、友の会、県内小・中学校、入館者等に配布した。

発行部数 延べ30万部 送付先 1,050箇所

(4) FaceBook・Twitterの活用

各館において11月からFaceBook・Twitterを活用したイベント情報の提供等を行った。

宮崎科学技術館

1 管理運営事業

平成 21 年度から 5 か年の指定管理を受け、平成 24 年度においても展示室、パソコン研修及びプラネタリウム事業等の円滑な運営を行うための保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用状況

開館日数	309 日	プラネタリウム投射日数	306 日
入館者数	144,715 人	利用者数	60,112 人
1 日平均入場者数	468 人	1 日平均利用者数	196 人

(2) 利用内訳

① 入館者（小人・大人）内訳

小人	75,625 人 (52.3%)
大人	69,090 人 (47.7%)
合計	144,715 人

② 入館者（個人・団体）内訳

個人	120,116 人 (83.0%)
団体	24,599 人 (17.0%)
合計	144,715 人

③ 県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育園	6,125 人 (43.5%)
小学校	5,581 人 (39.6%)
中学校	786 人 (5.6%)
高等学校	200 人 (1.4%)
一般（参考）	1,389 人 (9.9%)
合計	14,081 人

・広域圏外

幼稚園・保育園	1,033 人 (11.4%)
小学校	5,964 人 (65.4%)
中学校	339 人 (3.7%)
高等学校	94 人 (1.0%)
一般（参考）	1,688 人 (18.5%)
合計	9,118 人

④ 県外団体利用内訳

幼稚園・保育園	177人 (18.2%)
小学校	70人 (7.2%)
中学校	21人 (2.2%)
一般 (参考)	702人 (72.4%)
合計	970人

⑤ 県外地域別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州	21	881	90.8
四国	0	0	0.0
中国	1	40	4.1
近畿	0	0	0.0
北陸	0	0	0.0
関東	1	28	2.9
東北	0	0	0.0
北海道	0	0	0.0
海外(中国)	1	21	2.2
合計	24	970	100

⑥ 九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	2	55	6.2
佐賀	0	0	0.0
長崎	0	0	0.0
熊本	7	219	24.9
大分	2	132	15.0
鹿児島	9	441	50.0
沖縄	1	34	3.9
合計	21	881	100.0

2 常設展示事業

アポロ11号月面着陸船原寸大模型をはじめとした大型の展示物の他、先端科学技術を集約した展示物は約100点にのぼる。来館者が体験を通して科学の不思議や自然の素晴らしさに気付くことに努め、科学に対する興味・関心を深めさせることができた。

特に、老朽化した展示物については、コストを抑えつつ修繕を行うなど、最大限の効果的活用を努めた。

3 教室事業

(1) 科学実験・工作教室

子どもたちに「科学の芽」を育てるためのサイエンス教室や、高齢者と一般の人を対象にした「生きがい科学館」、子どもから大人まで楽しめるサイエンスショーや工作教室などを、JSC（ジョイフル・サイエンス・クラブ：教員退職者等で組織する教育ボランティア団体）や宮崎大学の学生ボランティアの協力とともに開催した。

① チャレンジサイエンス	実施回数	30回	参加者	5,253人
② ダ・ヴィンチ工房	実施回数	6回	参加者	130人
③ 生きがい科学館	実施回数	8回	参加者	105人
④ 不思議なサイエンスショー	実施回数	10回	参加者	908人
⑤ 宮崎少年少女発明クラブ	実施回数	20回	参加者	延べ 717人
⑥ ロボットクラブ（前期・後期）	実施回数	20回	参加者	延べ 590人
⑦ どろだんご教室	実施回数	2回	参加者	136人
⑧ 科学技術週間工作教室	実施回数	2回	参加者	217人
⑨ 自由研究サポート教室	実施回数	1回	参加者	18人

⑩	インストラクターなんでもサイエンスショー (スペシャル・出前講座含む)	実施回数	21回	参加者	1, 273人
⑪	コスモランド教室	実施回数	11回	参加者	2, 197人
⑫	水ロケット教室	実施回数	1回	参加者	21人

(2) パソコン講座

パソコンについての基礎的な技能を習得するとともに、パソコンに対する興味・関心を高める場として、小学生から高齢者までの幅広い人を対象に開催した。

①	パソコン入門講座	実施回数	6回	参加者	延べ 608人
②	ワード講座	実施回数	7回	参加者	延べ 721人
③	続ワード講座	実施回数	5回	参加者	延べ 216人
④	エクセル講座	実施回数	6回	参加者	延べ 635人
⑤	続エクセル講座	実施回数	5回	参加者	延べ 206人
⑥	ワード応用講座	実施回数	2回	参加者	延べ 200人
⑦	エクセル応用講座	実施回数	2回	参加者	延べ 214人
⑧	ハガキ作成講座	実施回数	4回	参加者	延べ 126人
⑨	はじめてのデジカメ講座	実施回数	3回	参加者	延べ 81人
⑩	すいすいパソコン	実施回数	35回	参加者	1, 662人
⑪	友の会パソコン講座	実施回数	24回	参加者	延べ 276人

4 プラネタリウム事業

3万8千個の星々を映し出す恒星投映機や全天ビデオ投映システムを生かし、一般番組や学習番組等を投映し、月刊情報誌等広報活動にも力を入れ、入場者数の増に努めた。

入場者数 57, 062人
 投映回数 1, 069回

(※一般番組・学習番組・自主製作番組の観覧者)

(1) 一般番組

「土星探査機 カッシーニ」
 「星になったチロ」
 「オズのまほうつかい」
 「ユニバース」
 「むしむし星空大行進」
 「今夜銀河の片隅で」
 「星とたんぽぽ」
 「マイクロコズム」
 「ダーウィンミステリー」
 「ポケットモンスター」
 「いきものがたり」
 「これが地球外生命だ！」
 「シーモンスター」
 「かぐやとKAGUYA」

(2) 学習番組

「ピーターパンとほしのくにへいこう」(幼児向け)

「宇宙探偵 ロッケンハイム」「スタジオ444」(小学生向け)

「忍法学習帳 星見の術でござる」(中学生向け)

(3) 自主製作番組

「ひむか神話～太陽の女神・アマテラス」

(4) 星空教室(新規)

プラネタリウムホールを利用して、幼児から一般を対象に、季節の星座や神話、天文の基礎を紹介し、天体や宇宙の基礎的な認識を深めるとともに、興味・関心をもってもらおうよう努めた。

実施回数 10回 参加者 399人

(5) スターウォッチング教室

宮崎市及び周辺2町在住の団体を対象に、応募団体の希望の場所へ出向き、天体の基礎的な学習と実際の天体観察を望遠鏡などを使用して体験してもらうことで天体や宇宙への興味・関心をもってもらおうよう努めた。

実施回数 7回 参加者 790人

5 文化振興事業

(1) 星空と音楽の夕べ

中学生から一般の方々を対象に、宮崎出身者や現在宮崎で活躍している音楽家の活動の場を提供するとともに、市民文化活動高揚に資するため、音楽の生演奏と星の解説、そしてCD音楽の解説という3部構成でのコンサートをプラネタリウムホールで実施した。

実施回数 2回 参加者 179人

(2) キラキラ星空コンサート

幼児から一般の方々を対象に、県内で活躍されている演奏家によるコンサートを実施するとともに、季節の星の話を提供し、幅広い年齢層の方に楽しんでもらった。

実施回数 2回 参加者 445人

(3) サウンドinプラネタリウム

宮崎市及び周辺2町の児童生徒へ文化的な活動の場を提供するとともに、プラネタリウムホールの有効活用を目的として、幼・保育園、小・中学校合計7校の合唱発表会を実施した。全天映像による演出が大変好評であった。

実施回数 5回 参加者 442人

(4) 癒しのプラネタリウム

プラネタリウムホールの有効活用を目的として、星空やヒーリング番組の投映・音楽鑑賞を通して、癒しの効果を体感してもらうように努めた。また、今年度から字幕投映にて星空の解説を始め、大変好評であった。

実施回数 6回 参加者 313人

(5) 星空劇場（開館25周年記念）

宮崎科学技術館開館25周年記念事業として、宇宙への興味・関心をもってもらうことを目的として、元JAXA宇宙飛行士・山崎直子氏による講演及び一般番組投映を行った。

実施回数 1回 参加者 227人

(6) スターフェスティバル

多目的ホールを利用して、来館者を対象に、プラネタリウムに関するパネルやレンズ、望遠鏡等を展示し、天体や宇宙の基礎的な認識を深めるとともに、興味・関心をもってもらうよう努めた。

また、体験コーナーを設けることで子どもたちにも興味を持ってもらう良いきっかけとなった。

実施回数 1回（8日間） 参加者 471人

(7) 絵本の読み聞かせ in プラネタリウム（新規）

プラネタリウムホールの有効活用を目的として、幼児から一般を対象に、ドームスクリーンを利用した大型絵本の読み聞かせや映像による演出を通して、プラネタリウムホールを幅広く体感してもらうように努めた。

実施回数 5回 参加者 364人

(8) ワクワク♪ワイワイ♪プラネタリウム（新規）

子育て世代の保護者など幅広い層の来館者にプラネタリウム空間を楽しんでもらうことを目的として、幼児から一般を対象に、子ども向けのプラネタリウムプログラムを実施した。

ホール内を少し明るくしたり、上映中の親子での会話をうながしたりすることで、幅広い層の来館者が参加できるように努めた。

実施回数 1回 参加者 49人

6 主なイベント・事業

(1) 主催事業

① 科学と遊ぼう！こどもの日

全館を無料開放し、こどもの日にちなんだ多彩な催しを実施した。

開催期日 平成24年5月5日（土）

入場者数 8,488人

② 第69回全日本学生児童発明くふう展

発明への興味・関心を高め、創造力育成と創作への意欲を高めるために、全国のコンクールで入賞した優秀な作品を展示した。

開催期日 平成24年5月23日（水）～ 6月3日（日）

入場者数 1,172人

③ 金環日食 in 宮崎

珍しい天体現象の一つである金環日食の仕組みを学び、興味を高めるとともに、安全に観察できるように講話および観察会を実施した。

開催期日 講話 平成24年5月6日（日）

観察会 平成24年5月21日(月)
入場者数 講話 130人
観察会 209人

④ 金星の太陽面通過 観察会

金星の太陽面通過の仕組みを学び、天体観測への意欲を喚起するとともに、安全に観察ができるように観察会を実施した。

開催期日 平成24年6月6日(水)
入場者数 503人

⑤ 感謝のつどい 七夕まつり

市民への感謝の気持ちを込めて、七夕まつりをテーマに、七夕にちなんだ工作教室などのイベントや七夕に関するプラネタリウム番組を放映した。

開催期日 平成24年7月8日(日)
入場者数 3,339人

⑥ 木星食 観察会

天体現象の一つである木星食の仕組みを学び、天体観測をすることで、宇宙や宇宙開発に関心を高める機会とするために観察会を実施した。

開催期日 平成24年7月15日(日)
入場者数 68人

⑦ 南極の氷譲渡式&サイエンスショー

自衛隊の協力により南極の氷を譲渡してもらい、自然環境を考えるきっかけにするため、南極にまつわる展示や実験を行った。

開催期日 平成24年7月16日(月)
入場者数 73人

⑧ なるほど!なっとく!人体の科学

人間の体の仕組みや心臓と肺の役割への理解を深めてもらうために、県立日南病院医学体験学習実行委員会などの協力を得ながら、体験学習を実施した。

開催期日 平成24年7月22日(日)
入場者数 240人

⑨ 青少年のための科学の祭典2012・宮崎大会

科学や科学技術の役割や楽しさを身近に体験できる実験ブースを多数用意し、科学への興味・関心を高める事業を実施した。

開催期日 平成24年8月3日(金)～8月5日(日)
入場者数 9,012人

⑩ WRO Japan 2012 宮崎大会

子どもたちが市販のキットでロボットを製作し、それを制御するコンピュータのプログラムも開発する自律型ロボットによる競技を行った。地方大会として小・中・高の3部門を実施し、それぞれの部門の代表チームが国内決勝大会（東京）に出場した。

開催期日 平成24年8月4日（土）

入場者数 421人

⑪ CO₂を減らそう環境展

地球環境問題や二酸化炭素を削減する取組などについての興味・関心を高めてもらうために、太陽光発電システム、ソーラーカー、エコ商品、環境問題関連パネルなどの展示、太陽電池や燃料電池、エネルギーに関する実験教室、リサイクル工作教室、電気自動車の試乗会などを実施した。

開催期日 平成24年8月10日（金）～ 8月21日（火）

入場者数 3,505人

⑫ 第19回宇宙画作品展

児童・生徒の創造性の育成を図り、宇宙及び宇宙開発に関する興味・関心を高めるため、宇宙をテーマにした絵画作品を展示した。また、9月8日（土）には、絵画作品入賞者を中心とした小・中学生を対象に、宇宙に関する宇宙教室（JAXAによる講演会）を開催して、その後、表彰式を実施した。

開催期日 宇宙画作品展 平成24年8月25日（土）～ 9月9日（日）

宇宙教室・表彰式 平成24年9月8日（土）

入場者数 宇宙画作品展 cxxa 1,499人

宇宙教室・表彰式 205人

⑬ JSCフェスティバル&科学技術館シルバーdays

敬老の日になみ、65歳以上の方と同行された家族を対象に、全館無料開放を実施した。

開催期日 平成24年9月15日（土）～ 9月17日（月）

入場者数 2,419人

⑭ サイエンスカフェ&バー（新規）

サイエンスコミュニケーションの場としての機能を生かし、市民と科学をつなぐための事業を展開することで、地域の方々が生涯を通して科学や宮崎の自然に親しむことができるような空間を提供した。

開催期日 カフェ 平成24年12月22日（土）

バー 平成25年1月12日（土）

入場者数 カフェ 11人

バー 42人

⑮ ものづくり教室

ものづくりや発明に関することに興味をもち、創造性豊かな子どもたちの育成のため、講演会を実施した。

開催期日 平成25年1月12日(土)
入場者数 100人

⑩ 友の会研修

宮崎科学技術館の友の会会員を対象に、天ヶ城歴史民俗資料館、霧島ファクトリーガーデンなどを巡る視察研修を実施した。

開催期日 平成25年2月10日(日)
参加者数 16人

⑪ 企画展「ロボット大集合展」(新規)

ロボットの誕生や進歩に関する解説パネルや、映画や実生活において活躍しているロボットを展示した。ロボットの歴史や役割を子どもから大人まで楽しく体験しながら学ぶことができる企画展を実施した。

開催期日 平成25年2月8日(金)～2月24日(日)
入場者数 延べ 9,035人

(2) 共催事業 ※ () は主催者名

① バードカービング展 開催期日 平成24年5月8日(火)～5月20日(日)
(宮崎バードカービング愛好会) 入場者数 1,182人

② 航空教室 開催期日 平成24年7月21日(土)、平成25年1月26日(土)
(航空大学校) 入場者数 116人

③ 宮崎ミニ水族館 開催期日 平成24年9月19日(水)～9月23日(日)
(宮崎大学農学部) 入場者数 2,137人

④ 県学校発明くふう展 開催期日 平成24年10月19日(金)～10月21日(日)
(発明協会宮崎県支部) 入場者数 888人

⑤ 宮崎市中学校毛筆展 開催期日 平成24年10月26日(金)～11月8日(木)
(宮崎市中学校国語主任部会) 入場者数 940人

⑥ 県特別支援学校アート展 開催期日 平成24年11月28日(水)～12月2日(日)
(県特別支援学校校長会) 入場者数 471人

⑦ 宮崎地区サイエンスコンクール展 開催期日 平成24年12月8日(土)～12月28日(金)
(科学夢チャレンジ事業宮崎地区実行委員会) 入場者数 1,133人

⑧ 宮崎市中学校硬筆展 開催期日 平成25年1月11日(金)～1月22日(火)
(宮崎市中学校国語主任部会) 入場者数 895人

⑨ コレッテェ〜ゴミ！？展示会（新規）

（社会福祉法人元気リサイクル工房）

開催期日 平成25年1月23日（水）～ 1月31日（木）

入場者数 522人

⑩ ディスカバリーチャンネル科学実験館（新規）

（MCN 宮崎ケーブルテレビ・ディスカバリージャパン）

開催期日 平成25年 3月30日（土）

入場者数 168人

宮崎市歴史資料館

【みやざき歴史文化館】

1 管理運営事業

平成21年度から5か年の指定管理を受け、平成24年度のみやざき歴史文化館の管理運営業務を行い、施設の維持管理及び展示物等の円滑な運営を行うため保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用状況

開館日数	313日
入館者数	58,246人
1日平均入館者数	186人

(2) 利用内訳

① 入館者（小人・大人）内訳

小人	30,591人 (52.5%)
大人	27,655人 (47.5%)
合計	58,246人

② 入館者（個人・団体）内訳

個人	50,724人 (87.1%)
団体	7,522人 (12.9%)
合計	58,246人

③ 県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育園	777人 (26.6%)
小学校	2,123人 (72.6%)
中学校	22人 (0.8%)
合計	2,922人

・広域圏外

幼稚園・保育園	0人 (0.0%)
小学校	185人 (100%)
中学校	0人 (0.0%)
合計	185人

④ 県外団体利用内訳

一般	86人 (100%)
小学校	0人 (0.0%)
中学校	0人 (0.0%)
合計	86人

⑤ 県外地域別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州	2	55	64.0
四国	0	0	0.0
近畿	1	31	36.0
中国	0	0	0.0
関東	0	0	0.0
東北	0	0	0.0
北海道	0	0	0.0
合計	3	86	100.0

⑥ 九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	0	0	0.0
佐賀	0	0	0.0
長崎	0	0	0.0
熊本	0	0	0.0
大分	0	0	0.0
鹿児島	2	55	100.0
沖縄	0	0	0.0
合計	2	55	100.0

2 常設展示事業

宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、神話、民具等に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史・文化に親しみ、郷土を理解する場を提供した。

3 企画展示事業

(1) 企画展『みやざき歴史文化館収蔵品展』

2代目吉田初三郎の「宮崎市鳥瞰図」、佐土原松巖寺旧蔵の仏像、広原極楽寺の仏像、その他、戦前・戦中の通信社である「同盟通信社」が発行した、昭和17～19年の「同盟写真ニュース」など、当館収蔵品を展示した。

開催期日 平成24年5月20日(日)～6月24日(日)

入館者数 2,835人

(2) 夏の特別企画展『アニマル・ヒストリー ～動物と人の歩み～』

人と様々な動物とのかかわりの歴史を、考古資料や絵画・剥製資料を通して紹介した。新富町教育委員会所蔵の百足塚古墳出土大型埴輪、西都原考古博物館の下那珂絵画土器ほか数点、天ヶ城歴史民俗資料館の龍の掛け軸などを展示した。

開催期日 平成24年7月7日(土)～9月2日(日)

入館者数 17,042人

(3) 企画展『神話パネル展』

古事記編纂1300年を記念し、「日向神話と古事記を訪ねて」のテーマで2階ギャラリーにパネルを展示した。また、来館者には故日高重孝著「伝説の日向」復刻版を作成し配布した。

開催期日 平成24年9月22日(土)～12月22日(土)

入館者数 15,896人

(4) 企画展 開館20周年特別企画展『宮崎城と上井覚兼』

樺山家(三股町)旧蔵史料、川内歴史資料館の豊臣秀吉・島津義久和睦像などの資料借用を行い、宮崎城の歴史を上井覚兼を中心に解説した。また、館の20周年記念マスコットキャラクターである「バンくん」の縫いぐるみもロビーに展示した

開催期日 平成24年10月6日(土)～12月2日(日)

入館者数 10,158人

(5) 年中行事『宮崎の正月展』

宮崎県内に伝わる正月の風景、代表的な飾り、伝統行事等を実物、模型、写真パネル等で紹介した。注連縄、餅つき道具、昔の正月のおもちゃ、正月飾りや料理、神社の絵馬、伝統凧などを展示した。

開催期日 平成24年12月15日(土)～平成25年1月14日(月)

入館者数 3,451人

(6) 企画展『石塔・石像が語る宮崎の歴史』

宮崎市及び近郊の石塔・石像を写真パネルで紹介しながら、それらが物語る歴史について解説した。また、蓮ヶ池史跡公園内の「石塔の原っぱ」を中心に新たにガイドブックを作成し来館者に配布した。

開催期日 平成25年1月14日(月)～2月11日(月)

入館者数 3,673人

(7) 企画展『歴史文化館のひな祭り』

新たに組み立て式のひな壇4基を製作し、これまでに寄贈されたひな人形を中心に展示しながら、ひな人形の歴史についても解説した。

開催期日 平成25年2月3日(日)～3月10日(日)

入館者数 3,550人

4 歴史文化振興・教育普及事業

(1) 講座

①宮崎の歴史文化講座

宮崎の歴史・文化について元宮崎大学教授や県総合博物館・県埋蔵文化財センターの各専門職員、歴史研究家の方々を講師として、宮崎の歴史・文化についての講座を実施した。

実施回数 8回

参加者 延べ 200人

②古文書講座

みやざき歴史文化館ボランティア会員を講師として、古文書資料【佐土原藩島津家江戸日記】の解読演習を行った。

実施回数 20回（前後期各10回）

参加者 延べ 477人

③みやざき歴史文化館開館20周年記念式典・特別講演

開催期日 平成24年11月25日（日）

講師 中世城郭研究会 八巻 孝夫 氏

演題 「宮崎城と中世・日向の城」

参加者 115名

会場 宮崎市保健所

内容 長年国内多数の山城の調査に携わってこられた氏の調査研究を基に、宮崎城を中心に近隣の四つの城（都於郡城、佐土原城、都之城、梶山城）についての講演

(2) 文化財探訪・史跡探訪会

市内の史跡や建造物等の文化財を訪ね、それぞれの文化財に対する理解と関心を深めるとともに、文化財への愛護意識を啓発する目的で実施した。

① 文化財探訪

開催期日 平成24年10月21日（日）、11月10日（土）

講師 みやざき歴史文化館学芸員

見学地 上井覚兼ゆかりの地を訪ねる（瓜生野八幡宮・王楽寺・奈古神社・景清廟・紫波洲崎城・御崎観音）

参加者 34人

② 史跡探訪会

開催期日 平成25年3月3日（日）

講師 みやざき歴史文化館学芸員

見学地 宮崎城址

参加者 32人

(3) 体験学習

昔から行われてきた農作物の栽培・収穫等の農耕体験学習や昔の人々の暮らしと関連した、「竹を使ったおもちゃ作り」等の製作体験学習を行うもので、当館の文化財愛護少年団や一般の参加者を対象に実施した。

農耕体験学習 実施回数 7回

参加者 延べ 300人

製作体験学習 実施回数 20回

参加者 延べ 672人

(4) 学校教育との連携

学校教育において体験学習が重視される中で、当館でも学校教育への支援活動を行った。主なものは、隣接する住吉南小学校「歴史文化体験クラブ」が当館を利用した体験学習（全

10回)や、教育委員会の助成制度等を利用したの当館見学(22校)があった。見学の際は「昔の道具」「厩屋」「古代住居」などの展示説明や石臼体験などの「体験学習」も行った。

5 イベント事業

(1) 「こどもの日」イベント

鎧・兜の試着、紙兜作り、ストロー細工、まが玉作り、竹とんぼ・鶯笛作り、史跡公園ウォークラリー、四半的弓道体験、野点ほか多数のイベントを実施

開催期日 平成24年5月3日(木)～5月6日(日)

利用者数 3,621人

(2) 夏休みイベント

① 「昔のあそび体験」

開催期日 平成24年8月5日(日)

内 容 紙皿を使って皿まわしの皿をつくり、皿まわしを実施

参加者 44人

② 「魚のつかみ取り」

開催期日 平成24年8月11日(土)

内 容 館の前にプールを設置し、ニジマス・アユなどのつかみ取りを実施

参加者 238名

③ 「どうぶつメリーゴーランドを作ろう」

開催期日 平成24年8月12日(日)

内 容 身近な材料で動物たちがまわるメリーゴーランドを製作

参加者 57人

6 資料収集、調査・研究

- ・市民より民俗資料を中心に177点の寄贈があった。
- ・開館20周年特別企画展「宮崎城と上井覚兼」のため、前年より継続している上井覚兼日記の分析を引き続き行った。その成果として、「戦国末期宮崎城主上井覚兼と宮崎衆の軍事行動」を研究紀要に掲載した。
- ・古事記編纂1300年を記念し当館でも「神話パネル展」を行ったが、そのための資料を収集した。
- ・企画展「石塔・石像が語る宮崎の歴史」のため、多数の石塔類の撮影・資料収集を行った。
- ・今後の企画展示等に資するため、宮崎の祭り・神楽等について映像資料収集を行った。

【宮崎市佐土原歴史資料館】

1 管理運営事業

平成21年度から5か年の指定管理を受け、平成24年度の宮崎市佐土原歴史資料館の管理運営業務を行い、施設の維持管理及び展示物等の円滑な運営を行うため保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用状況

開館日数	307日
入館者数	25,790人
1日平均入館者数	84人

(2) 利用内訳

① 入館者（小人・大人）内訳

小人	6,618人 (25.7%)
大人	19,172人 (74.3%)
合計	25,790人

② 入館者（個人・団体）内訳

個人	19,421人 (75.3%)
団体	6,369人 (24.7%)
合計	25,790人

③ 県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育園	1,459人 (68.0%)
小学校	398人 (18.5%)
中学校	290人 (13.5%)
合計	2,147人

④ 県外団体利用内訳

一般	162人 (91.0%)
小学校	0人 (0.0%)
中学校	16人 (9.0%)
合計	178人

⑤ 県外地域別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州	7	137	77.0
四国	0	0	0.0
近畿	0	0	0.0
中部	1	9	5.0
関東	0	0	0.0
東北	1	32	18.0
北海道	0	0	0.0
合計	9	178	100.0

⑥ 九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	0	0	0.0
佐賀	1	23	16.8
長崎	0	0	0
熊本	2	33	24.1
大分	0	0	0
鹿児島	4	81	59.1
沖縄	0	0	0.0
合計	7	137	100.0

2 常設展示事業

〔鶴松館〕佐土原城二の丸居館の一部をほぼ復元した「鶴松館」では、掛け軸・屏風・鎧兜など佐土原島津家の調度品を展示するとともに、地元につながる佐土原人形を展示している。

〔佐土原出土文化財管理センター〕展示研究室では農具・民具・民俗資料などの展示を、展示室に於いては企画展を開催している。屋外展示では、出土遺構をもとに、佐土原藩の「御普請所」建物の基礎部分を復元している。この遺構を土中に保存し、現在は佐土原町域の文化財・歴史史料の収蔵・保存をしている。

〔商家資料館 旧阪本家〕味噌や醤油の製造販売を手がけていた商家資料館「旧阪本家」では、1階に机や銭箱などを配した帳場などの様子を、2階に当時の商いに関する資料などを展示している。

3 企画展示事業

(1) 企画展「節句人形展」

子どもたちの健やかな成長を願い、商家資料館に端午の節句人形（佐土原人形）と紙で作られた昔の「鯉のぼり」を展示した。

開催期日 平成24年4月7日（土）～5月20日（日）

入館者数 423人

(2) 企画展「新収蔵品展」

ここ2～3年内の寄贈品を展示し紹介した。展示品の中でも、絵画・涅槃図・帆掛け舟釣り具・御殿下島津家鬼瓦・紙の鯉のぼり・マッチ箱・戦時中の軍服や千人針などが特に関心を呼んだ。

開催期日 平成24年4月14日（土）～6月24日（日）

入館者数 1,808人

(3) 企画展 「生活のうつろい展」

当館所蔵の民俗資料を、「食べる」「着る」「住む」「楽しむ」コーナーを設け展示紹介した。

開催期日 平成24年7月7日（土）～9月2日（日）

入館者数 983人

(4) 企画展「西南戦争と佐土原」

島津啓次郎を総裁とした佐土原隊の戦いを小牧秀發^{しゅうはつ}の遺した「従軍日誌」をもとに、熊本県甲佐町や美里町楠原台地に建つ「日向佐土原隊合葬之碑」を展示紹介した。

開催期日 平成24年9月29日(土)～12月24日(月)

入館者数 2,201人

(5) 企画展「弥勒祐徳^{すけのり}絵画展」

西都市の画家で同市の名誉市民である弥勒氏の佐土原人形を描いた色紙等104点を人形とともに展示した。

開催期日 平成25年1月12日(土)～3月17日(日)

入場者数 1,797人

(6) 企画展「ひな人形展」

商家資料館に佐土原人形のひな人形等を展示した。

開催期日 平成25年2月9日(土)～3月10日(日)

入場者数 571人

4 歴史文化振興・教育普及事業

(1) 講座

① 歴史文化講座「郷土を学ぶ」

主に佐土原の歴史事象や歴史上の人物、民俗・民俗芸能に関する内容の講座を実施した。

実施回数 5回

参加者 延べ106人

② 企画展関連講座

企画展関連講座は、「日向の国の西南戦争」と題して、西南戦争の起こりと与えた影響について史料をもとに、その背景や内戦の時系列、諸隊の動向、戦後等を企画展の内容に合わせて実施した。

開催期日 平成24年10月20日(土)

参加者 31人

③ 古文書講座

みやざき歴史文化館ボランティア会員を講師に、佐土原藩に関する古文書の解説を8回にわたって実施した。

実施回数 8回

参加者 延べ67人

④ 体験学習

佐土原城址の自然環境を活用し、昔の人々のくらしと文化、伝統的工芸に関連した製作体験学習を実施した。

実施回数 8回

参加者 延べ143人

⑤ 史跡探訪会・文化探訪バスツアー

佐土原町内と近郊の史跡や文化財を訪ね、それぞれの文化財に対する理解と関心を深めるとともに、郷土愛を育み、文化財愛護の意識を高める目的で、鶴松館ガイドの会の協力のもと実施した。

【第1回】

開催期日 平成24年9月9日(日)
講師 鶴松館ガイドの会
見学地 佐土原歴史資料館 → 髙文鬘跡地 → 広瀬神社 → 瓢箪島
→ 旧町田家近辺 → 島津御殿跡 → 護国神社 → 川南小学校
→ 小松山墓地 → 佐土原歴史資料館
参加人数 23人

【第2回】

開催期日 平成24年10月28日(日)
講師 鶴松館ガイドの会
見学地 佐土原歴史資料館 → 宗麟原供養塔 → 新納院高城跡 → 根白坂跡
→ 佐土原歴史資料館
参加人数 21人

【第3回】

開催期日 平成24年11月13日(火)
講師 鶴松館ガイドの会
見学地 佐土原歴史資料館 → 伊東新次郎墓 → 天昌寺跡
→ 佐土原歴史資料館
参加人数 12人

【第4回】文化探訪バスツアー

えびの市ボランティアガイドの会員を講師にして、木崎原古戦場を中心に西諸地区(えびの、小林)の伊東氏関連史跡を探訪した。

開催期日 平成24年11月24日(土)
案内 えびの市ボランティアガイド
見学地 佐土原歴史資料館 → 亀城公園 → 加久藤城趾 → 粥持田古戦場
→ 柚木崎丹後守墓地 → 伊東塚 → 佐土原歴史資料館
参加人数 21人

5 イベント事業

(1) 佐土原花しょうぶ祭り

鶴松館裏庭の花しょうぶ園で実施される、佐土原小学校地域づくり協議会主催の佐土原花しょうぶ祭りについて共催した。

開催期日 平成24年6月2日(土)～6月3日(日)
内容 鶴松館内でのピアノとバイオリン演奏、琴の演奏、野点、軽トラ市他
参加人数 4,203人

(2) 古地図探検隊

宮崎市教育委員会文化財課の主催事業である古地図探検隊について、佐土原小学校地域づくり協議会とともに共催した。

開催期日 平成24年9月22日(土)

内 容 鶴松館内駐車上をメイン広場として「佐土原城図下」を使ってチェックポイントを散策、オープニングでは巨田神楽やおかめ、ひょっとこ踊り、いろは口説き、佐土原人形の絵付け、軽トラ市などで賑わった。

参加人数 1,088人

(3) 神代独楽回し大会

江戸時代から下級武士の内職として作られ、端午の節句などのお土産として伝わってきた伝統工芸品である神代独楽の競技会を正月行事として初めて開催した。佐土原伝統的工芸品保存会の協力を得て、回っている時間の長さで勝敗を決した。

開催期日 平成25年1月5日(土)

参加人数 46人(児童10人、一般36人)

6 資料収集、調査・研究

- (1) 市民より歴史民俗資料を中心に327点の寄贈があった。
- (2) 佐土原町近郊の史跡調査
- (3) 佐土原工芸(佐土原人形、神代独楽、久峰うずら車)の調査
- (4) 西南戦争における本県(和田越の戦い、可愛岳突破など)及び熊本県甲佐町での足跡調査

【宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館】

1 管理運営事業

平成21年度から5か年の指定管理を受け、平成24年度の宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の管理運営業務を行い、施設の維持管理及び展示物等の円滑な運営を行うため保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用状況

開館日数	307日
入館者数	21,121人
1日平均入館者数	69人

(2) 利用内訳

① 入館者（小人・大人）内訳

小人	7,078人 (33.5%)
大人	14,043人 (66.5%)
合計	21,121人

② 入館者（個人・団体）内訳

個人	18,010人 (85.3%)
団体	3,111人 (14.7%)
合計	21,121人

③ 県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育園	157人 (7.0%)
小学校	2,078人 (93.0%)
中学校	0人 (0%)
合計	2,235人

・広域圏外

幼稚園・保育園	0人 (0%)
小学校	7人 (100%)
中学校	0人 (0%)
合計	7人

④ 県外団体利用内訳

小学校	0人 (0%)
中学校	0人 (0%)
一般	61人 (100%)
合計	61人

⑤ 県外地域別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州	2	61	100.0
四国	0	0	0.0
近畿	0	0	0.0
中部	0	0	0.0
関東	0	0	0.0
東北	0	0	0.0
北海道	0	0	0.0
合計	2	61	100.0

⑥ 九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	1	20	32.8
佐賀	0	0	0.0
長崎	0	0	0.0
熊本	0	0	0.0
大分	0	0	0.0
鹿児島	1	41	67.2
沖縄	0	0	0.0
合計	2	61	100.0

2 常設展示事業

旧高岡町域の考古・歴史、民俗・民俗芸能、民話、民具等に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史・文化に親しみ、郷土愛を培う場を提供した。

3 企画展示事業

平成24年3月3日(土)～5月6日(日)は、年度をまたぎ、みやざき歴史文化館・宮崎市佐土原歴史資料館と合同の巡回パネル展「みやざき神話紀行」を開催。

期間内入館者数 7,280人(平成23年度2,251・平成24年度5,029人)

(1) 企画展「今昔の感-高岡の100年-」

開催期日 平成24年5月26日(土)～7月21日(土)

入館者数 800人

内 容 「今昔の感」を誘う昔の高岡を写した白黒写真と現在の写真とを対比して紹介したほか、関連する歴史資料(高岡女学校の間取図、廃校となった内山小学校の看板、廃院となった病院の医療用具、自転車登録証など)を展示した。

(2) 企画展「ふるさとの民家-日高善一作品集-」

開催期日 平成24年7月21日(土)～9月23日(日)

入館者数 1,920人

内 容 高岡で生まれ育った故日高善一氏が製作された、昭和の古民家模型作品20点を展示した。参考資料として、宮崎県内の古民家の写真や、大正時代の高岡のくらしを描いた絵画資料を展示した。

(3) 企画展「大正・昭和の道具たち」

開催期日 平成24年10月13日(土)～平成25年2月11日(月)

入館者数 5,183人

内 容 小学校の社会科で取り扱う「古い道具と昔のくらし」等の学習に資することを目的として当館所蔵の古民具や写真、絵画等を展示・紹介した。なお、関連事業として、後記の授業支援「むかしの道具たち」を行った。

(4) 企画展「石油発動機展」

開催期日 平成25年3月9日(土)～5月6日(月)

入館者数 8,011人(平成24年度 5,035人・平成25年度 2,976人)

内 容 明治から昭和にかけ、農機具や船舶などに使われていた、石油発動機を展示した。発動機の仕組みや、そのあゆみを紹介したほか、石油発動機の運転会などのイベントを行った。

4 歴史文化振興・教育普及事業

(1) 古文書講座

松浦祥雄氏を講師に招き、古文書史料「宮崎騒動覚書(上)」の解説を行った。

全8回実施 参加者 延べ 97名

(2) 体験学習

伝統的なおもちゃを中心とした製作体験学習を行うもので、宮崎市近郊在住の一般の参加者(子どもとその保護者)を対象に実施した。

全9回実施 参加者 257名

(3) 天ヶ城歴史文化講座①講演会

宮崎や高岡の歴史や文化に親しみ、理解を深める場を提供するため、中世における宮崎平野・高岡の動静について講演を実施した。

開催期日 平成24年10月28日(日)

講 師 みやざき歴史文化館学芸員

会 場 宮崎市高岡天ヶ城麓地区武家住宅

演 題 「中世の穆佐院について」

参加者 14名

(4) 天ヶ城歴史文化講座②史跡めぐり

宮崎市内の史跡や資料館を訪ね、歴史・文化に対する理解と関心を深めると共に、文化財愛護意識を高める目的で実施するものである。今回は、高岡町内の文化財や史

跡をめぐるバスツアーを行った。

開催期日 平成24年11月23日（金）
講 師 天ヶ城歴史民俗資料館学芸員
見学地 高岡麓（龍福寺跡、武家住宅、武家門群、練士館など） → 悟性寺跡・島津久豊の墓 → 去川地区（去川関所跡、二見家住宅、田の神像、大イチョウ）
参加者 15名

(5) 授業支援事業「むかしの道具たち」

資料館に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「昔の暮らし」の学習等の充実に資することを目的として実施した。

対 象 宮崎市、綾町、国富町内の小学校
方 法 事前に学校へカタログを配布し、申し込みのあった学校に道具を運搬して、当方の管理下で道具の活用を支援した。授業では、道具の取り扱い方等について解説を行った。
実施回数 22回（22校）実施（内6件については、本館にて実施）
参加者 1,588名

5 資料収集、調査・研究

- ・民俗資料を中心とした資料39点の寄贈があった。
- ・旧高岡町役場が所蔵していた大正～昭和末期における写真資料を調査し、企画展示に活用した。
- ・みやざき歴史文化館開館20周年特別企画展「宮崎城と上井覚兼」に合わせ、上井覚兼日記における漢詩文記述の分析・翻訳を行い、論文「上井覚兼と漢詩について」を研究紀要に掲載した。

大淀川学習館

1 管理運営事業

平成21年度から5か年の指定管理を受け、平成24年度の大淀川学習館の管理運営業務を行い、施設の維持管理及び展示物等の円滑な運営を行うため保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用状況

開館日数	312日
入館者数	168,863人
1日平均入館者数	541人

(2) 利用内訳

① 入館者（小人・大人）内訳

小人	95,329人 (56.5%)
大人	73,534人 (43.5%)
合計	168,863人

② 入館者（個人・団体）内訳

個人	148,465人 (87.9%)
団体	20,398人 (12.1%)
合計	168,863人

③ 県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育園	6,129人 (53.7%)
小学校	4,904人 (43.0%)
中学校	376人 (3.3%)
合計	11,409人

・広域圏外

幼稚園・保育園	653人 (25.0%)
小学校	1,889人 (72.3%)
中学校	70人 (2.7%)
合計	2,612人

④ 県外団体利用内訳

一般	0人 (0.0%)
小学校	0人 (0.0%)
中学校	0人 (0.0%)
合計	0人

⑤ 県外地域別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州	0	0	0.0
中国	0	0	0.0
近畿	0	0	0.0
中部	0	0	0.0
関東	0	0	0.0
東北	0	0	0.0
北海道	0	0	0.0
合計	0	0	0.0

⑥ 九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	0	0	0.0
佐賀	0	0	0.0
長崎	0	0	0.0
熊本	0	0	0.0
大分	0	0	0.0
鹿児島	0	0	0.0
沖縄	0	0	0.0
合計	0	0	0.0

2 展示事業

(1) 常設展示

大淀川及びその周辺流域の自然・歴史・文化等について、見て、ふれて、体験し、楽しく学びながら、河川環境に対する意識の啓発を図れるよう、観察ステーションにおける剥製標本等の入れ替え、解説掲示等のリニューアルを行うとともに、案内看板等の新設を行った。また、川のシアターでは夏休みを活用して3Dハイビジョン特別番組の上映を行った。

(2) 生体展示

① 自然楽習園

自然楽習園は、子どもたちの自然を見る目を育て、自然観察の方法を学ぶための施設として位置付けられている。室温を外気温と同じにし、園内に流れる小川の周りにチョウの食草植物や蜜源植物を育てており、大淀川流域で見ることのできる約25種類のチョウを放蝶しており、季節に応じた種類のチョウを相当数放蝶（館内に常時100頭以上の飛翔個体数を確保）することができた。

② 生体展示ホール

大淀川水系で見られるアカメ、フナ、ヤマメなどの魚・水生小動物の生体展示をとおして、生物の生態や生息環境について理解を深められるように、解説掲示の内容を子どもに読みやすいように字を大きくし、吹き出し形式に改めた。また、夏休みには宮崎県内水面振興センターの協力を得て、ウナギの稚魚を観察できる「ウナギの生態コーナー」を設置した。

③ ホタル展示室

宮崎市環境保全課・市内各地区ホタル保存会で組織するホタル展示室運営協議会の支援のもと、ホタルの生体展示をとおして、ホタルの生態や生息環境について理解を深めるよう工夫するとともに、ホタルの幼虫や餌となるカワニナの飼育のために、できるだけ自然の状態に近づけた「ホタルビオトープ」を設置し、年間を通してホタルの飼育・管理を行った。

(3) 企画展示

① 特別企画展「カブトムシ・クワガタムシ展」

内 容 大淀川流域や世界で見られるカブトムシやクワガタムシの生態や生息環境についての理解を深め、昆虫への興味・関心を高めるために、カブトムシを自然に近い状態で放し飼いにするとともに、夜間の活動のようすを観察することができるように遮光できるコーナーをつくり展示した。

開催期日 平成24年7月7日(土)～8月31日(金)

入場者数 60,282人

② 企画展「水の生き物と仲良くなろう！ザリガニ展」

内 容 生物との触れ合いを通して生命の素晴らしさに気づかせるとともに、在来種と外来種について正しい知識を持たせ、大淀川流域の自然を大切にしようとする意識を育てるために、アメリカザリガニを多数展示し、タッチパネルで触れたり、ザリガニ釣り体験をしたりする体験を行った。

開催期日 平成24年4月21日(土)～6月17日(日)

入場者数 37,402人

③ 企画展「カラー魚拓への誘い」

内 容 カラー魚拓の展示を通して魚の形や色、模様などの特徴を捉え、魚類への興味・関心を高めるために、地元の愛好家たちの作品を展示した。

開催期日 平成24年12月1日(土)～平成25年1月14日(月)

入場者数 9,115人

④ 企画展「バードカービング展」

内 容 大淀川流域に見られる野鳥への興味・関心を高めるために、河辺等に見られる野鳥をテーマにしたバードカービングを展示した。

開催期日 平成25年1月20日(日)～2月24日(日)

入場者数 9,093人

⑤ 企画展「春一番、ひな山」

内 容 大淀川流域の民俗文化への興味・関心を高めるために、大淀川流域の綾町で生まれた「ひな山」を展示した。

開催期日 平成25年2月9日(土)～3月10日(日)
入場者数 9,911人

(4) 作品募集と展示

① 第12回大淀川流域の写真展

内 容 流域の自然の姿への関心を高め、自然を大切にすることを育てるために、大淀川流域の写真を集めて展示した。

応募数 346点

開催期日 平成24年9月15日(土)～10月7日(日)

入場者数 8,090人

② 第18回大淀川流域の動植物画コンクール入賞作品展

内 容 流域の動植物に対する関心を高めるとともに、動植物を観察する力を育てるために、大淀川流域に生息・生育する動植物の精密画を集めて展示した。

応募数 2,874点

開催期日 平成24年10月13日(土)～11月25日(日)

入場者数 13,896人

③ 第8回小・中学校川の学習展

内 容 広く流域住民に河川に関する実態を知らせることを通じて、大淀川流域の環境に対する関心を高めるために、小・中学校で行われている総合的な学習の時間でまとめた学習成果を展示した。

応募数 3点

開催期日 平成25年2月10日(日)～3月10日(日)

入場者数 9,636人

(5) コーナー展示

展示内容の充実を図るため、内容の定期的な更新や寄贈品等の展示および過去の特別展の資料等の展示をした。

(6) 里山の楽校

多目的施設「杉の家」、展望施設、地層観察コーナー、野草コーナー等で、保育園や幼稚園の園児、小学校の児童を中心に、動植物の観察や地層観察等を実施した。

3 学校対応事業

学校、幼稚園等の教育課程にそって支援をすることによって、該当学校等の教育効果をあげることを目的として実施した。

(1) 授業支援

対 象 小中学校等

回 数 9回

参加者数 延べ 917人
内 容 チョウの生態観察、里山の植物・地層観察等を行った。

(2) 指導者支援

対 象 小中学校教諭等
回 数 2回
参加者数 延べ 24人
内 容 チョウ・メダカの生態観察・飼育方法の説明や、宮崎層群の成り立ちに関する説明を行った。

(3) 子供会・PTA支援

対 象 子供会やPTA関係者
回 数 7回
参加者数 延べ 416人
内 容 簡単な工作を行った。

4 教室事業

自然に対して興味・関心を持ち、環境に対する理解を深めることを目的として実施した。

(1) 環境教室

対 象 小学生以上
回 数 8回
参加者数 延べ 200人
内 容 伝統のホタルかご作り、ホタル観察教室、浄水場見学で自由研究、水質検査で自由研究、水生生物調査、牛乳パックで年賀はがき作り、ペットボトルで工作、野鳥の巣箱作りを行った。

(2) 観察教室

対 象 小学生以上
回 数 4回
参加者数 延べ 200人
内 容 食べられる野草さがし、ミツバチ教室、メダカの飼育観察、カブトムシ・クワガタムシの飼育教室、植物採集で自由研究、バスで巡る宮崎の知られざる名所・地層、まつぼっくりでクリスマスツリー作り、冬鳥ウォッチングを行った。

(3) 体験教室

対 象 小学生以上
回 数 8回
参加者数 延べ 283人
内 容 アユの稚魚放流体験、チョウ・トンボの標本作り、石の工作、貝殻の工作、カヌーにチャレンジ、大淀川源流を訪ねて、シイタケの駒打ちを行った。

(4) 園児教室

対 象	幼稚園・保育園園児
回 数	26回
参加者数	延べ 1,001人
内 容	カブトムシ等の生態の説明と簡単な工作を行った。

5 イベント事業

連休や学校の休業日を利用して、学習館の利用を促進するとともに、自然に親しみ、水環境問題解決のための活動を実施した。

(1) 季節のイベント

対 象	制限なし
回 数	9回
参加者数	1,417人
内 容	グリーンアドベンチャー、ミニつり大会、カブトムシ・クワガタムシのクイズ大会、カブトムシ・クワガタムシのすもう大会、小魚すくい、昆虫カルタ大会、大淀川学習館検定を行った。

(2) ふれあいウィークエンド

対 象	小学生以上
回 数	24回
参加者数	640人
内 容	タネ模型を飛ばそう プラバンドでつくる虫や花 ペーパークラフトに挑戦しよう 針金アメンボを浮かせよう バランストンボを作ろう 植物でアクセサリーを作ろう 木の実でコマを作ろう 葉っぱで遊ぼう

6 その他の事業

(1) 学校教育との連携

小中学校施設学習支援事業や学校教育における生活科、理科、総合的な学習の時間における環境学習等、年々学校のニーズの高まる中、ハード・ソフトの両面から学校教育の支援を図るとともに、各種研修の対応についても内容の充実を図った。

来館学校

小学校	95団体	来館者	6,793人
中学校	4団体	来館者	446人
特別支援学校他	6団体	来館者	151人
幼稚園等	216団体	来館者	6,782人
合計	321団体	来館者	14,172人

(2) インターネットを使った情報提供

ブログの更新を常時行い、新たな情報を即提供するとともに、館周辺の通行者が情報を得られるよう、看板や掲示板の更新を定期的に行った。

宮崎市民プラザ

1 管理運営事業

平成21年度から5か年の指定管理を受け、平成24年度の宮崎市民プラザの管理運営業務を行い、利用者が安全・快適に利用できるように施設の維持管理に努めた。

また、自主事業の充実を図るため、「教育・文化啓発事業」、「招聘事業」及び「芸術文化事業」の3本柱を建て、施設の特徴を生かした事業を実施した。

(1) 利用状況

○ 総利用者数	234,051 人		
○ 開館日数	308 日		
○ 利用者の内訳			
・ ホール	入場者数	64,369 人	(利用率 78.63%)
・ ギャラリー	入場者数	40,638 人	(利用率 88.31%)
・ 練習室①	入場者数	16,248 人	(利用率 83.39%)
・ 練習室②	入場者数	5,340 人	(利用率 95.13%)
・ 大会議室	入場者数	19,013 人	(利用率 92.86%)
・ 中会議室	入場者数	11,069 人	(利用率 93.18%)
・ 小会議室①	入場者数	6,750 人	(利用率 96.43%)
・ 小会議室②	入場者数	5,357 人	(利用率 89.61%)
・ 和室	入場者数	5,383 人	(利用率 81.49%)
・ 学習室	入場者数	4,652 人	(利用率 78.57%)
・ プレイルーム	入場者数	415 人	
・ カフェクレーン	入場者数	7,919 人	
・ 活動センター	入場者数	33,707 人	
・ 団体室	入場者数	5,192 人	
・ ホール (打合せ)	入場者数	448 人	
・ ギャラリー (打合せ)	入場者数	122 人	
・ 窓口受付	受付人数	7,286 人	
・ 視察者等	67 団体	143 人	
	合 計	234,051 人	

2 自主事業実績報告書

1. 自主事業企画推進委員会

第1回 平成24年11月29日(木) 宮崎市民プラザ 大会議室

- (1) 委員委嘱について
- (2) 役員選出について
- (3) 平成24年度自主事業の実施状況について
- (4) 平成25年度自主事業の事業計画(案)について

第2回 平成25年3月29日(金) 宮崎市民プラザ 大会議室

- (1) 平成24年度自主事業の実施状況について
- (2) 平成25年度自主事業の事業計画について
- (3) 指定管理者公募に向けた事業計画(案)について

2. 自主事業実績

	事業名	開催日・場所等	入場料	入場者数
1	市民プラザコンサート ～夏夜のファンタジー～	平成24年8月26日(日) オルブライトホール	一般/500円 (当日600円)	252人
2	ベルリン少女合唱団宮崎公演	平成24年10月10日(水) 合唱ワークショップ オルブライトホール	無料	176人
		平成24年10月10日(水) 合唱団コンサート オルブライトホール	一般/1,000円 (当日1,200円) 高校生以下/500円 (当日600円)	523人
3	宮崎・音のスケッチブック ～秋のヒーリングコンサート～	平成24年10月21日(日) 橘公園噴水広場	無料	943人 (延べ)
4	第11回 みやざきザハール・ブロン音楽祭	平成24年12月12日(水) 小中学生のための演奏会 オルブライトホール	無料	999人
		平成24年12月13日(木) アウトリーチ 加納小学校	無料	850人
		平成24年12月13日(木) アウトリーチ 明星視覚支援学校		60人
		平成24年12月13日(木) ヴァイオリンセミナー オルブライトホール		23人
		平成24年12月14日(金) ヴァイオリンセミナー オルブライトホール	一般/1,000円 (大学生以下無料)	27人
		平成24年12月15日(土) ヴァイオリンセミナー オルブライトホール		38人
		平成24年12月15日(土) ヴァイオリンセミナー 受講生コンサート オルブライトホール	無料	106人
	平成24年12月16日(日) ザハール・ブロン&木嶋真優 デュオコンサート	指定席/4,000円 (当日4,800円) 自由席一般/3,000円 (当日3,600円) 自由席学生/1,000円 (当日1,200円)	400人	

5	市民プラザ寄席 好楽・歌春二人会	平成25年1月30日(水) 桂歌春の落語教室 (アウトリーチ) 本庄小学校	無料	70人
		平成25年1月30日(水) 桂歌春の落語教室 (アウトリーチ) 大淀小学校		135人
		平成25年2月11日(月・祝) 二人会落語 オルブライトホール	一般/2,000円 (当日2,400円) 高校生以下/1,000円 (当日1,200円)	406人
6	子どものための文化芸術体験 プログラム (アウトリーチ事業)	平成24年11月8日(木) コンテンポラリーダンス 木脇小学校	無料	73人
		平成24年11月30日(金) トランペット・ピアノ・パーカ ッションアンサンブル 恒久小学校	無料	89人
		平成25年2月25日(月) 読み聞かせ&クラシックコンサ ート 生目台幼稚園	無料	160人
		平成25年2月27日(水) 箏・三絃・尺八による三曲合奏 古城小学校	無料	29人
入場者数 合計				5,359人